

平成 29 年度秋季入学
平成 30 年度春季入学

弘前大学大学院人文社会科学研究科
修士課程

学 生 募 集 要 項

平成 29 年度 秋季入学
協定校推薦特別選抜

平成 30 年度 春季入学
協定校推薦特別選抜

弘 前 大 学

目 次

1 平成 29 年度秋季入学者学生募集要項

(協定校推薦特別選抜)

- I. 専攻・コース及び募集人員……………1
- II. 協定校推薦特別選抜
 1. 出願資格……………1
 2. 事前相談……………1
 3. 出願期間……………1
 4. 出願手続……………1
 5. 選抜方法等……………3
 6. 合格発表……………3
 7. 入学手続等……………3
 8. 注意事項……………3
 9. その他……………3

◇出願用巻末綴り込み用紙

入学志願票, 受験票, 写真票,
「振替払込受付証明書(大学提出用)」貼付台紙
推薦書(協定校推薦特別選抜志願者用)
入学確約書
研究計画書
特別措置希望調書
払込取扱票(省略)
あて名票(2枚)(省略)
受験票送付用封筒(省略)
出願書類送付用封筒(省略)

2 平成 30 年度春季入学者学生募集要項

(協定校推薦特別選抜)

- I. 専攻・コース及び募集人員……………4
- II. 協定校推薦特別選抜
 1. 出願資格……………4
 2. 事前相談……………4
 3. 出願期間……………4
 4. 出願手続……………4
 5. 選抜方法等……………5
 6. 合格発表……………5
 7. 入学手続等……………6
 8. 注意事項……………6
 9. その他……………6

3 社会人学生の教育方法の特例措置

- I. 昼夜開講制と教育方法の特例について……………7
- II. 長期履修制度……………7

4 入学料及び授業料の

免除・徴収猶予について……………7

5 弘前大学大学院人文社会科学研究科案内

- I. 目 的……………8
- II. 専攻及びコース……………8
- III. 課程修了の認定及び学位……………11
- IV. 教員免許状授与の所要資格の取得……………11

弘前大学大学院人文社会科学研究科学生募集要項（修士課程）

◆試験実施日程

平成 29 年度秋季入学（平成 29 年 10 月入学）

選 抜 方 法	出 願 期 間	試験実施日	合格発表日
協定校推薦特別選抜	平成 29 年 4 月 3 日(月)～4 月 7 日(金)	—	平成 29 年 5 月 17 日(水)

平成 30 年度春季入学（平成 30 年 4 月入学）

選 抜 方 法	出 願 期 間	試験実施日	合格発表日
協定校推薦特別選抜	平成 29 年 7 月 14 日(金)～7 月 21 日(金)	—	平成 29 年 8 月 31 日(木)

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学大学院人文社会科学研究科<修士課程>

1 概要

高度で特色ある教育・研究を通して、地域社会の課題や日本全体の社会変化・制度変動に対応できる高度専門職業人の養成を目的とします。

2 求める学生像

- ・ 学術の深奥を究めようとする人
- ・ 中学校、高等学校教諭の専修免許状を得るなどして、高度資格社会に対応しようとする人
- ・ 地域社会・グローバル社会において活躍しようとする人
- ・ 社会の経験に基づいて専門性を高め、スキルアップを図ろうとする人 など

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

大学院において、より専門的な学術研究に従事していくため、研究内容や成果を論文（レポート）の形にまとめることは、有意義で重要なステップとなります。

また、それぞれの専門に必須な語学（古典語を含む）を意識的に修得しておくことも求められています。

さらに、中学校、高等学校の専修免許状取得を希望する場合は、学部において一種免許状を取得しておくことが望まれます。

4 入学者選抜の基本方針

文化科学・社会科学に関する基礎学力、より専門的な知識・技術を探求する意欲や計画等を評価するために、次の方法で入学者選抜を行います。

(1) 一般選抜

専門科目（筆記試験）及び口述試験の結果を総合して選抜します。

（成績証明書・研究計画書は、口述試験の基礎資料として使用します。）

(2) 推薦特別選抜

口述試験により選抜します。

（成績証明書・研究計画書は、口述試験の基礎資料として使用します。）

◎文化科学専攻

1 概要

現代社会を作り上げた人間とその歴史、文化のさまざまな在り方について深くかつ広い視野から探求し、そこから見出される叡智を未来に生かし得る人材の養成を目的とします。

2 求める学生像

- ・ 古今の文化現象について、資史料やデータに基づき、論理的で綿密な考察を行うことにより、人間社会の深層を明らかにしたい人

◎応用社会科学専攻

1 概要

経済学、経営学、法学、政治学、社会学など社会科学全体を横断的に連携させ、高度な専門教育を行うとともに、複雑化、高度化しつつ進展する社会経済システムを多角的かつ複合的な視点から把握し分析する能力を有する人材の養成を目的とします。

2 求める学生像

- ・ 国家の役割、社会のありかた、経済のメカニズム、人間行動の実態に複眼的に切り込み、洞察を深めたい人

1 平成 29 年度秋季入学者学生募集要項

(協定校推薦特別選抜)

I. 専攻・コース及び募集人員

専攻	コース	募集人員
		特別選抜
		協定校推薦特別選抜
文化科学	総合文化社会研究コース	若干名
	地域人材育成コース	
	国際人材育成コース	
応用社会科学	総合文化社会研究コース	若干名
	地域人材育成コース	
	国際人材育成コース	

II. 協定校推薦特別選抜

1. 出願資格

次の各号の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 本学の協定校に在籍又は協定校を卒業した外国人留学生
- (2) 志望する専攻と関連する系統の専門教育を受けた者
- (3) 学業成績・人物ともに優れた者として本学の協定校の指導教員及び学長又は学部長(研究科長)から推薦され、合格した場合には入学を確約できる者
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成29年9月までに修了する見込みの者
 - ② 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者又は平成29年9月までに修了する見込みの者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
- (5) 修学に必要な程度の日本語能力がある者

2. 事前相談

- 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする教員と電話、e-mail等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談・指導を受け、受け入れの承諾と推薦の了解を得てください。
- 教員については9ページ以降の表を参照してください。
- 不明な点や質問がある場合は下記まで問い合わせてください。

弘前大学人文社会科学部総務グループ教務担当 電話 0172-39-3940

3. 出願期間

平成 29 年 4 月 3 日 (月) から平成 29 年 4 月 7 日 (金) まで

*持参する場合の受付時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。郵送の場合、出願期間最終日必着とする。

4. 出願手続

- (1) 出願書類

出願者は、以下の書類を一括とりそろえ、所定の期日までに提出すること。
 なお、郵送の場合は書留郵便とすること。

【願書提出先】弘前大学学務部入試課

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 電話 0172-39-3973・3193

	出願書類等	摘要
1	入学志願票等	本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること。 (入学志願票・写真票・受験票・「振替払込受付証明書」貼付台紙)
2	卒業(見込)証明書	出身大学(学部)長が発行した卒業(見込)証明書
3	成績証明書	出身大学(学部)長又は出身学校長が発行し、 厳封 されたもの。
4	推薦書	協定校の指導教員及び学長又は学部長(研究科長)が作成したもの。
5	入学確約書	本研究科所定の用紙を用いて作成すること。
6	検定料 30,000円	本研究科所定用紙により、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で払い込むこと。 注) 海外から外国送金により検定料を納付する場合は、(2)外国送金による検定料の納入方法により手続きすること。 国費外国人留学生については検定料を必要としないが、在学する大学発行の「国費外国人留学生証明書」を提出すること。
7	研究計画書	本研究科を志望する理由、研究したいことを2,000字程度(ワープロで別紙作成も可)にまとめること。
8	あて名票(2枚)	出願者の住所・氏名を記入すること。
9	返信用封筒	出願者の住所・氏名を記入し、82円分の切手を貼ること。
10	住民票	日本国籍を有しない者のみ提出すること。 ・日本に在住の者は、市町村発行の「住民票」 ・海外に在住の者は、その国の「戸籍謄本」又は「市民証明書」

※提出書類のうち、英語以外の外国語で作成されたものについては日本語訳を添付すること。

(2) 外国送金による検定料の納入方法

次の要領に従って、検定料 30,000 円を海外の金融機関から送付すること。なお、送金には時間がかかるので早めに手続きし、必ず出願期間の最終日までに指定口座に到着するように行うこと。

〈送金関連事項〉

【送金種類】 電信送金
 【支払方法】 口座振替
 【支払手数料】 依頼人負担
 【送金金額】 30,000 円
 【送金目的】 検定料

〈送金先〉

【金融機関名】 青森銀行
 【支店名】 弘前支店
 【口座の種類】 普通
 【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町19
 【スィフトコード】 A O M B J P J T
 【口座番号】 201-1228599
 【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 佐藤 敬
 【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
 【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

※送金依頼人は志願者の氏名とすること。

※日本国外から振込む場合、振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要となる。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となる。

※日本国内取引手数料は、銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定すること。もし指定が行われなかった場合、青森銀行で取引手数料が差し引かれるため、弘前大学への入金が不足となる。この場合入学手数料を支払ったとは、みなされないので注意すること。

※送金後、送金手続き書類の(写)を他の出願書類と一緒に提出すること。

5. 選抜方法等

入学者の選考は、提出された書類で行う。

6. 合格発表

平成 29 年 5 月 17 日（水）午前 10 時（予定）

学務部入試課前掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付する。

《情報提供の一環として、本学ホームページ上にも合格者の受験番号を掲載します。》

URL: <http://www.hirosaki-u.ac.jp/~nyu/>

7. 入学手続等

入学手続については、合格者に別途通知する。

必要経費 入学料 282,000 円（予定）

授業料 後期分 267,900 円（年額 535,800 円）（予定）

授業料については、後期分 267,900 円を入学手続の際に納入することができる。
なお、申し出により前期分の納入の際に、後期分も合わせて納入することができる。
入学料改定が行われた場合には、改定時から新入学料が適用される。また、授業料
改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

8. 注意事項

(1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めない。提出した出願書類等に虚偽の申告があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。

(2) 一度納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しない。

9. その他

(1) 身体障害等により、受験上及び修学上の特別な配慮を希望する受験者は願書提出先に事前に申し出ること。

(2) 出願書類等に記載された、志願者の住所・氏名・生年月日その他の個人情報、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、入学選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うために利用するものとする。

また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に利用しない。

2 平成30年度春季入学者学生募集要項 (協定校推薦特別選抜)

I. 専攻・コース及び募集人員

専攻	コース	募集人員
		特別選抜
		協定校推薦特別選抜
文化科学	総合文化社会研究コース	若干名
	地域人材育成コース	
	国際人材育成コース	
応用社会科学	総合文化社会研究コース	若干名
	地域人材育成コース	
	国際人材育成コース	

II. 協定校推薦特別選抜

1. 出願資格

次の各号の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 本学の協定校に在籍又は協定校を卒業した外国人留学生
- (2) 志望する専攻と関連する系統の専門教育を受けた者
- (3) 学業成績・人物ともに優れた者として本学の協定校の指導教員及び学長又は学部長(研究科長)から推薦され、合格した場合には入学を確約できる者
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了する見込みの者
 - ② 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了する見込みの者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
- (5) 修学に必要な程度の日本語能力がある者

2. 事前相談

- 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする教員と電話、e-mail等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談・指導を受け、受け入れの承諾と推薦の了解を得てください。
- 教員については9ページ以降の表を参照してください。
- 不明な点や質問がある場合は下記まで問い合わせてください。

弘前大学人文社会科学部総務グループ教務担当 電話 0172-39-3940

3. 出願期間

平成29年7月14日(金)から平成29年7月21日(金)まで

*持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとする。郵送の場合、出願期間最終日必着とする。

4. 出願手続

(1) 出願書類

出願者は、以下の書類を一括とりそろえ、所定の期日までに提出すること。
なお、郵送の場合は書留郵便とすること。

【願書提出先】弘前大学学務部入試課

	出 願 書 類 等	摘 要
1	入学志願票等	本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること。 (入学志願票・写真票・受験票・「振替払込受付証明書」貼付台紙)
2	卒業(見込)証明書	出身大学(学部)長が発行した卒業(見込)証明書
3	成績証明書	出身大学(学部)長又は出身学校長が発行し、 厳封 されたもの。
4	推薦書	協定校の指導教員及び学長又は学部長(研究科長)が作成したもの。
5	入学確約書	本研究科所定の用紙を用いて作成すること。
6	検定料 30,000円	本研究科所定用紙により、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で払い込むこと。 注) 海外から外国送金により検定料を納付する場合は、(2)外国送金による検定料の納入方法により手続きすること。 国費外国人留学生については検定料を必要としないが、在学する大学発行の「国費外国人留学生証明書」を提出すること。
7	研究計画書	本研究科を志望する理由、研究したいことを2,000字程度(ワープロで別紙作成も可)にまとめること。
8	あて名票(2枚)	出願者の住所・氏名を記入すること。
9	返信用封筒	出願者の住所・氏名を記入し、82円分の切手を貼ること。
10	住民票	日本国籍を有しない者のみ提出すること。 ・日本に在住の者は、市町村発行の「住民票」 ・海外に在住の者は、その国の「戸籍謄本」又は「市民証明書」

※提出書類のうち、英語以外の外国語で作成されたものについては日本語訳を添付すること。

(2) 外国送金による検定料の納入方法

次の要領に従って、検定料 30,000 円を海外の金融機関から送付すること。なお、送金には時間がかかるので早めに手続きし、必ず出願期間の最終日までに指定口座に到着するように行うこと。

〈送金関連事項〉

- 【送金種類】 電信送金
- 【支払方法】 口座振替
- 【支払手数料】 依頼人負担
- 【送金金額】 30,000 円
- 【送金目的】 検定料

〈送金先〉

- 【金融機関名】 青森銀行
- 【支店名】 弘前支店
- 【口座の種類】 普通
- 【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町19
- 【スィフトコード】 A O M B J P J T
- 【口座番号】 201-1228599
- 【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 佐藤 敬
- 【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
- 【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

※送金依頼人は志願者の氏名とすること。

※日本国外から振込む場合、振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要となる。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となる。

※日本国内取引手数料は、銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定すること。もし指定が行われなかった場合、青森銀行で取引手数料が差し引かれるため、弘前大学への入金不足となる。この場合入学手数料を支払ったとは、みなされないので注意すること。

※送金後、送金手続き書類の(写)を他の出願書類と一緒に提出すること。

5. 選抜方法等

入学者の選考は、提出された書類で行う。

6. 合格発表

平成 29 年 8 月 31 日 (木) 午前 10 時 (予定)

学務部入試課前掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付する。
《情報提供の一環として、本学ホームページ上にも合格者の受験番号を掲載します。》
URL: <http://www.hirosaki-u.ac.jp/~nyu/>

7. 入学手続等

入学手続については、合格者に別途通知する。

必要経費 入学料 282,000 円 (予定)

授業料 前期分 267,900 円 (年額 535,800 円) (予定)

授業料については、前期分 267,900 円を入学手続の際に納入することができる。
なお、申し出により前期分の納入の際に、後期分も合わせて納入することができる。
入学料改定が行われた場合には、改定時から新入学料が適用される。また、授業料
改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

8. 注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めない。提出した出願書類等に虚偽の申告があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- (2) 一度納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しない。

9. その他

- (1) 身体障害等により、受験上及び修学上の特別な配慮を希望する受験者は願書提出先に事前に申し出ること。
- (2) 出願書類等に記載された、志願者の住所・氏名・生年月日その他の個人情報、入学者選抜、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、入学者選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うために利用するものとする。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に利用しない。

3 社会人学生の教育方法の特例措置

I. 昼夜開講制と教育方法の特例について

本研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例として、昼夜開講制を実施します。

特例による授業時間帯は、原則として夜間（18 時 00 分から 19 時 30 分まで及び 19 時 40 分から 21 時 10 分まで）並びに土曜日に設定するものとし、当該授業担当教員と履修希望学生の実情に即して柔軟に設定するものとします。

大学院設置基準第 14 条の規定による教育方法の特例による教育を希望する志願者は、事前に希望指導教員と相談の上、出願書類提出時に「特別措置希望調書」を提出してください。

II. 長期履修制度

社会人学生の修学を容易にするとともに、経済的負担等の軽減を図ることを目的とし、本研究科では長期履修制度を実施しています。

この制度が適用となる社会人学生は（1）官公庁、企業等に在職中の者、（2）自ら事業を営んでいる者、（3）その他本研究科が認めた者です。

許可された場合の授業料の年額支払は、次のとおりです。

大学が定める授業料年額（535,800）×2 年÷長期履修期間（3 又は 4 年）

詳細及び申請方法は、下記まで問い合わせてください。

弘前大学人文社会科学部・教務担当
TEL：0172-39-3940

4 入学料及び授業料の免除・徴収猶予について

入学料及び授業料については免除・徴収猶予制度があります。

「入学料」・「授業料」 免除・徴収猶予	経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合のほか、入学前 1 年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の災害を受けた場合等の特別な事情により納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学料の免除（半額）・延納、授業料の免除（全額又は半額）・徴収猶予（延納又は月割分納）を許可されることがあります。
------------------------	---

合格発表から入学手続日までの期間が短い場合、免除・徴収猶予を希望する者は、あらかじめ（合格発表前であっても）申請書類を請求し、記入した申請書類に同一生計者の所得証明書をはじめとする必要書類を添えて、入学手続時に申請してください。

秋季入学の入学料免除は入学料納付対象者数により予算が決まるので、入学料納付対象者数が少なく、免除できる予算が入学料の半額に満たない場合、徴収猶予のみとなります。

◆ 郵送による申請書類の請求

請求する封筒の表に「入学料免除等申請書類請求」又は「授業料免除等申請書類請求」と朱書きし、「角形 2 号の返信用封筒」及び「受験者氏名、志願研究科、連絡先電話番号（携帯電話番号可）」を明記したメモを同封の上、送付してください。

- (1) 返信用封筒には「宛先（受験者の住所・氏名）」を記入し、205円分（速達の場合は485円分）の切手を貼ってください。ただし、入学料と授業料の両方の免除等申請書類を請求する場合は、250円分（速達の場合は530円分）の切手になります。
- (2) 入学料免除等・授業料免除等申請書類請求期間
 平成29年度秋季入学：平成29年7月5日（予定）～
 平成30年度春季入学：平成30年1月19日（予定）～
 ※入学料免除等申請書類の提出期限は入学手続日ですので、早めに請求してください。

◆ **窓口での申請書類の受取**

上記の請求期間から学生課窓口でも配付します。できるだけ受験者本人が受け取るようにお願いします。窓口では受験者であること申し出てください。
 受験者氏名、志願研究科、連絡先電話番号等の記入が必要です。

◆ **申請書類の請求先（問い合わせもこちらまで）**

〒036-8560
 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 生活支援グループ
 電話：0172-39-3117
 時間：平日 9:00～17:00

※ 申請書類の配付は文京町地区の「学務部学生課」のみで行います。

5 弘前大学大学院人文社会科学研究科案内

I. 目的

広い視野に立って精深な学識を授け、人文社会科学の専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的とする。

II. 専攻及びコース

学生は次の専攻及びコースのいずれかに所属して授業科目を履修し、研究指導を受ける。

専攻	コース (各専攻ともいずれかのコースに所属する)	教育研究上の目的
文化科学 応用社会科学	総合文化社会 研究コース	より深く専門分野を学び、将来、研究者となる人材を育成する。また、キャリアアップを目指す社会人等の高度職業人を養成する。
	地域人材育成 コース	より広く地域社会を学び、地域社会の活性化等において中心的な役割を果たすために必要な知識・技能等を身につけた、地域のリーダーとしての人材を育成する。
	国際人材育成 コース	グローバルな感覚を身につけ、国際社会で活躍するために必要な知識・技能等を身につけた人材を育成する。また、日本の歴史・文化についての理解を深め、グローバルな視点に立った人材を育成する。

1) 文化科学専攻

コース	研究指導分野	教員名	担当コース			専 門
			総合文化社会研究	地域人材育成	国際人材育成	
総合文化社会研究コース 地域人材育成コース 国際人材育成コース (いずれかのコースに所属する)	歴史社会	荷見守義	○		○	中国明清史
		李 良	○		○	中国哲学, 日中比較思想
		林 明	○		○	南アジア近・現代史
		中村武司	○		○	イギリス史, イギリス帝国史
		武井紀子	○	○		日本古代史
		亀谷学	○		○	ユーラシア史
	文化財	山田厳子	○	○		民俗学
		宮坂朋	○		○	美術史, 西洋考古学
		上條信彦	○	○		日本考古学, 縄文時代
		関根達人	○	○		文化財論, 歴史考古学
		須藤弘敏	○	○		日本美術史
		足達薫	○	○		西洋美術史
		片岡太郎	○	○		文化財科学, 保存科学
		植月学	○	○		博物館学, 動物考古学
	思想文化	今井正浩	○		○	西洋古典学, 西洋古代思想
		木村純二	○		○	日本倫理思想史
		横地徳廣	○		○	倫理学, 現象学
	アジア文化	尾崎名津子	○		○	日本近現代文学
		渡辺麻里子	○	○		日本古典文学, 日本仏教, 文献資料学
		城本るみ	○		○	現代中国論
	ヨーロッパ文化	小野寺進	○		○	イギリス小説, イギリス文化論
		澤田真一	○		○	ニュージーランド文学
		熊野真規子	○		○	仏語, 仏文学
		泉谷安規	○		○	20世紀フランス文学
		堀智弘	○		○	アメリカ文学
		南修平	○		○	アメリカ史, アメリカ研究
		土井雅之	○		○	イギリス文学・文化
		南修平	○		○	アメリカ史, アメリカ研究
	言語科学	山本秀樹	○		○	一般言語学, 言語類型論
		内海淳	○		○	音韻論, 形態論
		木村宣美	○		○	英語学(統語論・意味論)
		奥野浩子	○		○	言語学, 英語学, 意味論
		佐藤和之	○	○		国語学, 方言学, 社会言語学
		鹿嶋彰	○		○	日本語教育学, 言語教育
		小山宣子	○		○	日本語教育学
		川瀬卓	○		○	日本語学, 日本語史
	コミュニケーション	羽渕一代	○	○		情緒社会学, コミュニケーション論
		曾我亨	○		○	人類学, コミュニケーション行動
		奈蔵正之	○		○	言語政策論, 現代フランス論
		齋藤義彦	○		○	欧米近代論, 現代ヨーロッパ論

文化交流	日比野 愛子	○	○	社会心理学, パーソナルネットワーク	
	古村 健太郎	○	○	社会心理学	
	杉山 祐子	○		○	人類学, 生態人類学
	諏訪 淳一郎	○	○	文化人類学, 音楽人類学	
	フィリップス, ジョン・エドワード <small>※平成30年3月定年退職</small>	○		○	歴史(アフリカ, アメリカ, イスラーム, 方法論)
	フルト, フォルカー	○		○	比較外交政策, 平和研究, 日欧関係

2) 応用社会科学専攻

コース	研究指導分野	教員名	担当コース			専 門
			総合 文化 社会 研究	地 域 人 材 育 成	国 際 人 材 育 成	
総合文化 社会研究 コース 地域人材 育成コース 国際人材 育成コース (いずれか のコースに 所属する)	地域システム	北島 誓子	○	○		地域経済, 地域政策
		佐々木 純一郎	○		○	アジア経済論, 地域産業の国際競争力
		黄 孝 春	○		○	経済史, 経営史
		金目 哲郎	○	○		財政学
		白石 壮一郎	○	○		地域研究
		桑波田 浩之	○		○	国際貿易論, 産業の実証分 析
		近藤 史	○	○		地域研究, 生態人類学
		平井 太郎	○	○		社会学, 合意形成論
	公共システム	児山 正史	○	○		行政学, 地方自治論
		細矢 浩志	○		○	経済政策, 現代資本主義分 析
		李 永 俊	○	○		労働経済学
		平野 潔	○	○		刑法
		成田 史子	○	○		労働法
		河合 正雄	○	○		憲法
		小磯 重隆	○	○		キャリア教育, 職業能力開発
	経済システム	山本 康裕	○	○		マクロ経済学
		小谷田 文彦	○	○		産業組織論
		福田 進治	○	○		経済学史, 経済思想
		池田 憲隆	○		○	日本経済史
	情報数理	飯島 裕胤	○	○		法・制度の経済分析
		大橋 忠宏	○	○		地域科学, 交通経済学
		増山 篤	○	○		地理情報科学, 空間分析, 都市解析, 都市計画
	経営システム	保田 宗良	○	○		マーケティング, 商業経営
		高島 克史	○	○		経営管理
		長谷河 亜希子	○	○		商法, 経済法
		森 樹 男	○		○	国際経営論
		吉村 顕真	○	○		民法
		大倉 邦夫	○		○	経営組織論, 企業社会論・組織間関係論
恩田 睦		○		○	経営史	

会計システム	熊田 憲	○	○		地域イノベーション論
	加藤 恵吉	○		○	管理会計, 税務会計
	内藤 周子	○		○	会計学, 財務会計
	小杉 雅俊	○	○		管理会計・原価計算

※教員の異動等により研究指導ができない場合もあり得ます。

※各教員の研究指導の特色に関する詳しい情報は次のホームページをご覧ください。

人文社会科学研究所ホームページ

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/jinbun/web/index.html>

Ⅲ. 課程修了の認定及び学位

本学大学院人文社会科学研究所に2年以上在学し, 所定の必修科目と選択科目を合わせて30単位以上修得し, かつ, 修士論文の最終試験に合格した者には, 修士(人文社会科学)の学位が授与される。

なお, 文化科学専攻及び応用社会科学専攻において地域人材育成コース及び国際人材育成コースに所属する者で, 本人が希望する場合, 個別課題報告書をもって修士論文に代えることができる。

Ⅳ. 教員免許状授与の所要資格の取得

中学校又は高等学校教諭1種免許状授与の所要資格を有する者で, 当該免許教科に係る中学校又は高等学校教諭専修免許状の所要資格を取得しようとする者は, 所定の単位を修得すれば次の免許状を取得することができる。

専攻	種類	免許教科
文化科学	中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 英語
	高等学校教諭専修免許状	国語, 地理歴史, 公民, 英語
応用社会科学	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	地理歴史, 公民, 商業

平成 29 年度秋季入学・平成 30 年度春季入学
弘前大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

入 学 志 願 票

		※受験番号			
ふりがな		性別	生年月日		
氏 名		男・女	昭和 平成 西暦	年 月 日	日生 (歳)
入学時期	<input type="checkbox"/> 平成29年度秋季（平成29年10月） <input type="checkbox"/> 平成30年度春季（平成30年4月）				
選抜区分	協定校推薦特別選抜				
志望専攻名等	専 攻	専攻	希 望 コ ー ス	コース	
	研究指導分野		希望指導教員		
	受験科目名（専門科目）				
出願資格	国立 公立 私立	大学 高等専門学校	学部 学科・課程 専攻		
	昭和・平成・西暦		年 月	<input type="checkbox"/> 卒業	<input type="checkbox"/> 卒業見込
志願者 現住所	〒 ー 住 所				
(受信場所)	携帯電話 () - () - () 電 話 () - () - ()				
外国人留学生記入欄	[国籍]	[留学経費] <input type="checkbox"/> 国費 <input type="checkbox"/> 私費			
大学院設置基準第14条による 特別措置希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	長期履修制度希望の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

注) 1. ※欄は記入しないこと。
2. 「希望指導教員」と、事前に連絡をとることが望ましい。

(裏面へ)

入試課確認欄	希望指導教員との事前連絡の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	受付年月日 ()
--------	---	-----------

平成 29 年度秋季入学
平成 30 年度春季入学
弘前大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

受 験 票

写 真 (4cm×3cm)
出願前3か月以内に 撮影した正面向き 上半身脱帽のもの。 裏面に氏名を記入す ること。

受験番号	※
専 攻	専攻
希望コース	コース
研究指導分野	
受験科目	
ふりがな	
氏名	

平成 29 年度秋季入学
平成 30 年度春季入学
弘前大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

写 真 票

写 真 (4cm×3cm)
出願前3か月以内に 撮影した正面向き 上半身脱帽のもの。 裏面に氏名を記入す ること。

受験番号	※
専 攻	専攻
希望コース	コース
研究指導分野	
受験科目	
ふりがな	
氏名	

平成29年度秋季入学
平成30年度春季入学
弘前大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

「振替払込受付証明書（大学提出用）」

貼 付 台 紙

◆ 「振替払込受付証明書（大学提出用）」 を貼付してください。 ◆
--

受験番号	※
専 攻	専攻
ふりがな	
氏 名	

※欄は記入しないでください。

履 歴 書		
学 歴	年 月	事 項
	年 月	入 学
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴	年 月 年 月	
	年 月 年 月	
	年 月 年 月	
資格・免許等	年 月	
	年 月	
	年 月	
賞 罰		

(注1) 学歴欄には高等学校以上の学校名を省略せずに記入してください。

なお、外国人志願者は小学校から記入してください。

(注2) 研究生等の履歴がある場合は、学歴欄に記入してください。

(注3) 履歴中に虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが入学後に判明した場合には、入学許可を取り消すことがあります。

【協定校推薦特別選抜志願者】

※受験番号

平成 年 月 日

弘前大学長 殿

入 学 確 約 書

私は、弘前大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）の入学試験に合格した場合には、同研究科に入学することを確約します。

志願者住所

志願者氏名

印

※欄は記入しないでください。

平成29年度秋季入学
平成30年度春季入学
弘前大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

受験番号
※

研究計画書

氏名	専攻	希望コース	研究指導分野
	専攻	コース	

※欄は記入しないこと。

特別措置希望調書

		※受験番号			
ふりがな		生年月日		性別	
氏名		昭和 平成 西暦	年	月 日 (満 歳)	男・女
専攻	希望コース	研究指導分野	希望指導教員		
	専攻	コース			
現住所	〒 — Tel()-()-()				
勤務先	名 称 所在地 〒 — Tel()-()-()				
特別措置を希望する理由					

注1) ※欄は記入しないでください。

注2) 特別措置を希望する場合は、あらかじめ希望する指導教員と相談の上、提出してください。

お 知 ら せ

募集要項・過去問題の請求について

1. 募集要項の請求をする場合は、「大学院人文社会科学研究所学生募集要項請求」と朱書きし、次のものを同封のうえ、下記までお送りください。

- 返信用封筒(角2)：返信先の郵便番号、住所、氏名を記載
250円分の切手を貼付(速達を希望する場合は530円分の切手)

2. 過去に出題された試験問題を請求する場合は、「大学院人文社会科学研究所過去問題請求」と朱書きし、次のものを同封のうえ、下記までお送りください。

なお、試験科目によっては過去問題がない場合がありますので、送付前に入試課へお問合せください。

- 研究科、専攻、研究指導分野、試験科目、請求者連絡先(電話番号)を記載したもの
- 返信用封筒(角2)：返信先の郵便番号、住所、氏名を記載
205円分の切手を貼付(速達を希望する場合は485円分の切手)

【請求先】

弘前大学学務部入試課
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

※弘前大学学務部入試課窓口(総合教育棟1F)においても配付・貸出をしています※

人文社会科学研究所ホームページ

人文社会科学研究所に関する詳しい情報が掲載されています。
URL：<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/jinbun/web/index.html>

問い合わせ先一覧

事 項	担当名	電 話
○入学試験に関すること	入試課・大学院担当	0172-39-3973・3193
○入学料・授業料免除申請に関すること	学生課・経済支援担当	0172-39-3117
○学生寮に関すること	学生課・課外教育担当	0172-39-3107
○教務に関すること	人文社会科学部・教務担当	0172-39-3940

人文社会科学研究所市民カレッジについて

人文社会科学研究所では、平成28年度より、青森市内と弘前市内の会場で「市民カレッジ」を開講しています。4年制大学を卒業した方であれば、どなたでも大学院の授業科目を受講することができます。受講した科目の到達度は、大学院入学後、正規の単位に振り替えることができます。受講料は1科目11,500円となります。

詳細については、人文社会科学研究所ホームページをご覧ください。